

コロンビア月例報告（4月分）

外交・内政状況

2016年5月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

【内政】

- 2日 ウリベ派による反サントス政権デモ
- 19日 新鉱山・エネルギー大臣の任命
- 25日 内閣改造
- 27日 大統領府内の機構改革

【外交】

- 1日 オルギン外相のCELAC外相会合参加（於：ドミニカ（共））
- 4～6日 サントス大統領の中米訪問
- 6～8日 孫政才中国共産党中央政治局委員の当国訪問
- 15日 熊本地震に関連する在京コロンビア大使館による警戒措置
- 17日 コロンビア政府によるエクアドル地震に対する弔意表明・支援措置
- 18～22日 オルギン外相の国連訪問（於：ニューヨーク）
- 21～22日 サントス大統領の国連訪問（於：ニューヨーク）
- 23日 オルギン外相のUNASUR外相会合参加（於：エクアドル）
- 24日 サントス大統領のエクアドル訪問
- 26～28日 ハモンド英国外相の当国訪問

II 本文

【内政】

1 ウリベ派による反サントス政権デモ

2日、ウリベ前大統領の呼びかけにより、サントス政権を批判するデモが全国26都市で実施され、81,900人が参加した。

2 新鉱山・エネルギー大臣の任命

19日、サントス大統領は、ヘルマン・アルセ新鉱山・エネルギー大臣を任命した。

3 内閣改造

25日、サントス大統領は内閣改造を行った（閣僚リスト改訂版別添）。

（1）新任閣僚

交替となり新任された閣僚は以下のとおり。その他閣僚は留任された。

- ・ ロンドーニョ法務大臣（元ボヤカ県知事）
- ・ ロペス労働大臣（PDA党首）
- ・ ラコトゥール商工観光大臣（前コロンビア貿易振興機構総裁）
- ・ ムリージョ環境・持続可能な開発大臣
- ・ ノゲラ住居・都市・国土大臣（元バランキージャ市長）
- ・ ロハス運輸大臣（元マニサレス市長）

（２）経緯

サントス大統領の右腕とされたグティエレス大統領府長官が21日に辞任したことが引き金となった。サントス大統領は、一連の閣僚交替をする時期にあり、和平を見据えて内閣改造を早める必要がある旨述べた。

23日、全閣僚が形式的にサントス大統領に辞表を提出した。法務大臣は、次期検事総長候補に指名されていたため、既に22日に辞表を提出していた。

なお、大統領府長官 (Ministro de la Presidencia) の名称は、従来の大統領府官房長 (Secretario General) の名称に戻されることとなった。

新内閣の特徴は、女性閣僚が増加し、アフリカ系から入閣し、地域バランスが考慮され、連立与党外から、左派のPDA党及び緑の同盟党からも入閣したことである。

4 大統領府内の機構改革

27日、サントス大統領は、和平及びポスト・コンフリクトに向けた準備のための効率性及び調整能力向上を目的として、大統領府内の機構改革を伴う人事異動を実施した。

3名の大臣級審議官 (Ministro Consejero) ポストが、高等審議官 (Alto Consejero) に戻された。なお、2014年9月に大臣級審議官ポストが設置された際、従来的高等審議官ポストは、大臣級審議官と単なる審議官 (Consejero) の2種類に分離され、今次機構改革までの間は高等審議官の名称は公式には使用が中断されていた。

【外交】

1 オルギン外相のCELAC外相会合参加（於：ドミニカ（共））

1日、オルギン外相はドミニカ（共）で開催された第10回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) 外相会合に参加した。同会合では、CELACとロシア、トルコ、韓国、インド、EU及び中国等の域外国との関係についても協議された。

2 サントス大統領の中米訪問

4～6日、サントス大統領及びオルギン外相は、中米北部三角地帯のグアテマラ、エルサルバドル及びホンジュラスを訪問した。ビジェガス国防大臣及びアルバレス＝コレア商工観光大臣（当時）も同行した。

サントス大統領は、モラレス・グアテマラ大統領、サンチェス・エルサルバドル大統領及びエルナンデス・ホンジュラス大統領とそれぞれ会談した。サントス大統領は国連麻薬特別総会におけるコロンビアの立場につき説明したほか、各国において企業家フォーラムに参加した、また、コロンビアによる中米諸国に対する治安協力に関しても協議した。

3 孫政才中国共産党中央政治局委員の当国訪問

6～8日、孫政才中国共産党中央政治局委員がコロンビアを訪問した。8日、孫委員は、サントス大統領及びオルギン外相と会談した。イラゴリ農業・地方開発相も同席した。同会談においては、コロンビア農業製品の中国市場へのアクセス、中国企業の投資増加、観光誘致、インフラ関連の投資機会、及び協力の深化につき協議された。

4 熊本地震に関連する在京コロンビア大使館による警戒措置

15日、在京コロンビア大使館は、14日に発生した熊本地震に関連するコロンビア人犠牲者が発生した場合に備えて緊急警戒態勢に入った（当館注：コロンビア人犠牲者は発生しなかった）。

5 エクアドル地震に関連するコロンビア政府の対応

16日、同日発生したエクアドル地震を受けて、在エクアドルの各コロンビア領事館がコロンビア人保護のための緊急事態対応体制に入った。

翌17日、コロンビア外務省は、「コロンビア外務省は、4月16日に発生し、エクアドルの様々な地域を襲った地震による緊急事態に関し、エクアドル共和国に帯する弔意及び連帯を表明する」との声明を発出し、同日、65名の隊員及び2匹の救助犬から構成される救助隊を派遣したほか、ブエナビントゥーラ港から水と食料を積載した船1隻をマンタ港に向けて派遣した。また、ナリーニョ県及びボゴタから70名以上の更なる救助隊員を派遣する準備を開始した。

24日、コロンビア外務省はエクアドル地震の自国民保護に関する最終報告を発表した。同発表によれば、11名のコロンビア人が死亡し、1,023件の支援要請を受け、そのうち530件が安否確認の要請であった。530件中430件の所在が確認された。また、181名のコロンビア人がコロンビアに送還された。

6 オルギン外相の国連訪問（於：ニューヨーク）

18～22日、オルギン外相はニューヨークの国連本部を以下の日程で訪問した。

(1) 18日

オルギン外相は国連事務総長と会談し、コロンビア和平検証のための国連特別政治ミッションに関し協議したほか、5月23～24日の世界人道サミットへの出席を約束した。

(2) 19日

オルギン外相は、レジェス法相（当時）及びガビリア厚生・社会保障相とともに国連麻薬特別総会開会式に出席した。

(3) 21～22日

サントス大統領の国連滞在に伴い、同大統領に同行した。

7 サントス大統領の国連訪問（於：ニューヨーク）

21～22日、サントス大統領は、国連本部を以下の日程で訪問した。

(1) 21日

サントス大統領は持続可能な開発目標達成のためのハイレベル協議に出席したほか、国連麻薬特別総会において演説し、違法薬物問題は公衆保健問題であり犯罪問題として扱う従来の戦略を、より柔軟なものに転換すべきである旨述べた。

また、ミミツァEU国際協力・開発担当委員と会談し、同委員は、EUはコロンビアに対して、協力基金を通じて9千万ドルの支援をすることを発表した。同基金は麻薬対策及びポスト・コンフリクトの枠組での環境保護に使用される。

(2) 22日

サントス大統領はオルギン外相及びバジェホ環境・持続可能な開発相（当時）とともに気候変動に関するパリ協定署名式に出席した。また、国連事務総長と会談し、国連特別政治ミッションに関して協議した。

8 オルギン外相のUNASUR外相会合参加（於：エクアドル）

23日、南米諸国連合（UNASUR）外相会合がエクアドルで開催され、オルギン外相が参加した。

9 サントス大統領のエクアドル訪問

24日、サントス大統領はエクアドルのマナビ県の被災地を訪問し、空軍基地においてコレア・エクアドル大統領に出迎えられた。サントス大統領は、23トンに上る緊急人道支援物資を空輸し、エクアドルに対して供与した。

10 ハモンド英国外相の当国訪問

26～28日、ハモンド英国外相が当国を訪問し、27日、サントス大統領と会談した。ハモンド外相は、本年11月1～3日の日程で、エリザベス二世女王によるサントス大統領に対する国賓としての招待状を渡した。また同外相は、5月12日に開催される反汚職世界サミット中の3委員会のうち1委員会の議長としてサントス大統領の参加を要請し、サントス大統領は招待を受け入れた。

(別添)

第二次サントス政権閣僚名簿(2016年4月25日現在)

| | | | |
|---|--|---|-------|
|  | Presidente 大統領 | Juan Manuel SANTOS Calderón フアン・マヌエル・サントス・カルデロン | 国民統一党 |
|  | Vicepresidente 副大統領 | Germán VARGAS Lleras ヘルマン・バルガス・ジェラス | 急進改革党 |
|  | Ministro del Interior 内務大臣 | Juan Fernando CRISTO Bustos フアン・フェルナンド・クリスト・ブストス | 自由党 |
|  | Ministra de Relaciones Exteriores 外務大臣 | María Ángela HOLGUÍN Cuéllar マリア・アンヘラ・オルギン・クエジャル | |
|  | Ministro de Hacienda y Crédito Público 財務・公債大臣 | Mauricio CÁRDENAS Santa María マウリシオ・カルデナス・サンタ・マリア | 保守党 |
|  | Ministro de Justicia y del Derecho 法務大臣 | Jorge Eduardo LONDOÑO Ullóa ホルヘ・エドゥアルド・ロンドーニョ・ウジョア | 緑の同盟党 |
|  | Ministro de Defensa Nacional 国防大臣 | Luis Carlos VILLEGAS Echeverri ルイス・カルロス・ビジェガス・エチェベリ | 自由党 |
|  | Ministro de Agricultura y Desarrollo Rural 農業・地方開発大臣 | Aurelio IRAGORRI Valencia アウレリオ・イラゴリ・バレンシア | 国民統一党 |
|  | Ministro de Salud y Protección Social 厚生・社会保障大臣 | Alejandro GAVIRIA Uribe アレハンドロ・ガビリア・ウリベ | 自由党 |
|  | Ministra del Trabajo 労働大臣 | Clara Eugenia LÓPEZ Obregón クララ・エウヘニア・ロペス・オブregon | PDA |
|  | Ministro de Minas y Energía 鉱山・エネルギー大臣 | Germán ARCE Zapata ヘルマン・アルセ・サパタ | 保守党 |
|  | Ministra de Comercio, Industria y Turismo 商工観光大臣 | María Claudia LACOUTURE Pinedo マリア・クラウディア・ラコトゥール・ピネド | 国民統一党 |
|  | Ministra de Educación Nacional 教育大臣 | Gina María PARODY d'Echeona ジナ・マリア・パロディ・デチェオナ | |
|  | Ministro de Ambiente y Desarrollo Sostenible 環境・持続可能な開発大臣 | Luis Gilberto MURILLO Urrutia ルイス・ヒルベルト・ムリージョ・ウルティア | 急進改革党 |
|  | Ministra de Vivienda, Ciudad y Territorio 住居・都市・国土大臣 | Elsa Margarita NOGUERA De la Espriella エルサ・マルガリータ・ノゲラ・デラエスプリエジャ | 急進改革党 |
|  | Ministro de Tecnologías de la Información y las Comunicaciones 情報技術・通信大臣 | David LUNA Sánchez ダビッド・ルナ・サンチェス | 自由党 |
|  | Ministro del Transporte 運輸大臣 | Jorge Enrique ROJAS Quiceno ホルヘ・エンリケ・ロハス・キセノ | 国民統一党 |
|  | Ministra de la Cultura 文化大臣 | Mariana GARCÉS Córdoba マリアナ・ガルセス・コルドバ | |

(了)